

1年技術科シラバス

教科担当	田邊	実施学年	1年	週時数	1時間
------	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を持つことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価資料
前期	4	●ガイダンス	・3年間の学習内容を知り、見通しを持つことができる。	35 時間	・期末テスト ・技家ノート点検 ・ワークシートの確認
	5	1, 生活や社会における技術の役割	・技術の進展と環境への影響について考え、よりよい社会の実現に向けて考えようとしている。		
	6	・材料と加工の技術	・木材や金属、プラスチックなどの材料の特徴を知り、適切な利用方法を理解している。		
	7	・材料を利用するための技術 ・製図 ・問題解決の手順 ・設計	・製作品を図に表す方法を知り、書くことができる。 ・設計の進め方を理解し、材料ごとに適切な加工方法を考えることができる。 ・製作品を図に表す方法を理解し、設計図を正しく理解することができる。		
後期	9	2, 製作のための技能 (マルチスタンドの製作) ・けがき	・けがきの必要性を理解し、さしがねを適切に利用してけがきができる。		・期末テスト ・技家ノート点検 ・ワークシートの確認 ・各作業での実技評価
	10	・切断	・両刃のこぎりを適切に利用して、正確な切断ができる。		
	11	・切削	・工具や機械を利用して、正確に切削ができる。		
	12	・穴あけ	・ボール盤を利用して、穴あけができる。		
	1	・組立て	・げんのう、釘や接着剤を利用して、正確な組立てができる。		
	2				

後期	3	・1年間のふり返し	・木材を材料から製作品にするために適切な加工方法を考え、効率的に作業し、製作品を作ることができる。 ・材料に適した加工技術等の特性を知り、日常生活に役立てる技術を見つけることができる。		・技家ノート点検 ・作品評価
----	---	-----------	---	--	-------------------

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、作品の製作に取り組むことができているか。技家ノート、期末テスト、授業中の作業内容等から評価します。	・作品 ・期末テスト ・技家ノート点検 ・作品（各工程の実技）
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫し、解決したか、見通しをもって製作することができたか等を技家ノート、作品の内容等から評価します。	・技家ノート点検やワークシートの確認 ・作品（各工程の実技）
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか。毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・技家ノート点検 ・自己評価

☆欠席及びリモート授業の場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・期末テストは2回実施します。授業に集中し、テスト前は計画的に学習を進めてください。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：木材（ひのき材：長さ 1000×幅 210×厚さ 12）
技・家ノート（明治図書：技術家庭総合ノート・技術分野）

2年技術科シラバス

教科担当	田邊	実施学年	2年	週時数	1時間
------	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されているエネルギー変換や情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価資料
前期	4	●生物育成に関する技術 1, 生活や社会を支える生物育成の技術	・生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。	9 時間	・期末テスト ・技家ノート点検 ・栽培実習における計画及び観察記録の確認・点検
	5	2, 生物育成の技術による問題解決（野菜作り実習）	・問題解決の手順を知り、生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定できる。		
	6	3, 様々な生物育成の技術	・育成計画に基づいた生物を育成し、適切な環境を維持できるよう工夫し観察・栽培することができる。		
	7	4, これからの生物育成の技術	・学習活動を振り返り、生物育成の技術の見方・考え方について考える。		
後期	9	●エネルギー変換に関する技術 1, 生活や社会とエネルギー変換の技術	・エネルギー変換の技術が生活に果たしている役割について考える。	26 時間	・期末テスト ・技家ノート点検 ・基礎実験とワークシートの確認
	10	2, エネルギー資源の利用	・エネルギー資源の種類やエネルギーが利用されるまでの流れを知る。		
	11	3, 電気の利用	・様々な電源の電圧の大きさや波形等電気の物性に関する観察・比較を行う。		
	12	4, 運動の利用	・動力を伝えるしくみ、機器の手入れや点検保守を行う。		・技家ノート点検 ・作品評価 ・自己評価
	1	5, エネルギー変換の技術による問題解決（ウッデーキューブラジオの製作）	・製作品の実習を通して様々な電子部品の特性や電気工具の安全な使い方を知る。		
	2	6, これからのエネルギー変換の技術	・学習活動を振り返り、エネルギー変換の技術で身につけた見方・考え方について考える。		
	3				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、作品の製作に取り組むことができるか。期末テスト、技家ノートやワークシート、授業中の作業内容や観察記録等から評価します。	・期末テスト ・ラジオ製作と基礎実験 ・栽培計画及び観察表の点検と確認 ・技家ノートやワークシートの点検
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫し、解決したか、見通しをもって製作することができたかを観察記録やワークシート、技家ノート、作品の内容等から評価します。	・ラジオ製作と基礎実験 ・栽培計画及び観察表 ・技家ノートやワークシートの点検
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか。毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・技家ノートやワークシートの点検 ・自己評価

☆欠席及びリモート授業の場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・期末テストは2回実施します。授業に集中し、テスト前は計画的に学習を進めてください。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：エネルギー変換学習用キット（ウッドイーキューブラジオ）
生物育成学習用キット（モイスト栽培セット）
技・家ノート（明治図書：技術家庭総合ノート・技術分野）

3年技術科シラバス

教科名	福嶋	実施学年	3年	週時数	0.5時間
-----	----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されている生物育成や情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
前期	4	●情報に関する技術 ・生活や社会と技術	・情報の技術が生活や社会で果たしている役割をまとめることができる。	17.5 時間	・期末テスト ・技家ノート点検
	5				
	6	・情報とコンピュータ	・コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。		
	7	・情報の表現と伝達	・情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。		
	9	・情報セキュリティと情報モラル	・情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知る。		
後期	10		・情報モラルの必要性和情報収集発信するときに注意することを知る。		・期末テスト ・技家ノート点検 ・演習
	11	・計測・制御による問題解決	・計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ・計測・制御を活用して生活を便利にする方法を話し合い、発表等できる。		
	12		・プログラムを組むことができ、プログラム通りに動かすことができる。		
	1	・プログラムによる計測制御実習			
	2	・これからの情報の技術	・情報の技術での学習をふり返り、技術の見方、考え方について考える。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、作品の製作に取り組むことができるか。技家ノート、期末テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・ 期末テスト ・ 技家ノートやワークシートの点検 ・ 演習
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫し、解決したか、見通しをもって製作することができたか等を技家ノート、作品の内容、自己評価等から評価します。	・ 技家ノートやワークシートの点検 ・ 演習
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか。毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・ 技家ノートやワークシートの点検 ・ 自己評価

☆欠席及びリモート授業の場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ 期末テストは2回実施します。授業に集中し、テスト前は計画的に学習を進めてください。
- ・ これからの情報社会で必要な情報モラルの部分について社会で起きている様々な問題に目を向けていくことが大切です。

5 教材等について

- ・ 教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）